

やって来ました！

らしいかわら瓶

いや～な虫刺されの季節です！



虫刺されの原因となる身近な虫たち

吸血

蚊：室内ではアカイエカ、庭ではヒトスジシマカ、林ではヤブカ 掻き壊すと、とびひを起こしやすくなります。



ノミ：ネコノミが多い。野良猫が砂場に成虫を置き、刺される。下肢に多くみられ、強い発赤と水疱ができやすくなります。

ブヨ：刺されると少量出血。1～2日後には発赤・腫脹が強くなります。

刺す

ハチ：山ではスズメバチ、クマバチ、人家の近くではアシナガバチ 刺されると強い痛みと発赤、腫脹 ⇒1～2日後に強くなること。 ※アナフィラキシーショックに注意！



咬む

クモ・ムカデ：クモは、神経毒を持つセアカゴケグモなどの毒グモに刺されると、ショックを起こすことがあります。ムカデにかまれると激しい痛みを感じます。



触れて皮膚炎

毛虫：チョウやガの幼虫。チャドクガなど。毒のある毛に触ると赤い小さな発疹、激しいかゆみが起こります

虫刺され予防 上手に活用

虫よけを使用

スプレー、ジェル、ティッシュ、虫よけリング、シール、玄関に置く芳香剤タイプ、ベランダ・窓際につるすタイプ

POINT

スプレーやジェルはまんべんなく塗る、こまめに塗りなおす、日焼け止めの上から塗ると効果的。

服装

長袖・長ズボン・帽子を着用



POINT 肌触りがよい・汗が乾きやすい・明るい色のもの

ハーブ

ハーブゼラニウム、レモングラス シトロネラ、ユーカリ、ペパーミント バジルなど

発生源の除去

屋外に放置されている缶や瓶、古タイヤに水がたまりやすく、蚊の発生源となるため撤去する。

子供の虫よけは注意！

DEET（虫よけ剤）が入っているものは注意！

吸い込まないように注意！エアゾールタイプよりポンプタイプやティッシュタイプがおすすめ！

6か月未満の乳児には使用しないこと。

6か月以上2歳未満は、1日1回

2歳以上12歳未満は、1日1～3回

アロマやエッセンシャルオイルでスプレーを手作り、植物を植えて虫よけにも。

虫に刺された時の応急処置



蚊

流水で冷やす→市販の虫さされ薬を塗る



ハチ

針が刺さっていればピンセットで抜く
→市販のステロイド薬を塗り患部を冷やす
→病院へ（スズメバチの場合は即病院へ！）



毛虫

毒のある部分をガムテープなどで取り除く
→流水で残っているとげなどを洗い流す
→病院へ

アナフィラキシーショック

蜂に（通常2回以上）刺されること
によって、「全身性のじんましん」「血
圧低下」「呼吸困難」「意識障害」など
を発症するショック状態を示します。
場合によっては、死に至る危険な症状
です。

市販の塗り薬の選び方 ➡ 症状から配合成分を選択

蚊、ブヨ、ノミに刺された ⇒軽度、かゆみのみ

抗ヒスタミンのみ

- ポケムヒ：携帯に便利
- 新ウナコーワクール：使用感がよい

その他

キンカン：皮膚の知覚マヒや血行促進等
により、鎮痛・鎮痒・消炎作
用がある。アンモニアの
おい

毛虫、ムカデに刺された ⇒強いかゆみ+赤み、腫れ

ステロイド+抗ヒスタミン

最強

- ムヒアルファEX：炎症が強いとき（毛虫・ムカデ）
- ムヒアルファSクリーム：生後6か月から使用可
- 液体ムヒ：ローションで使用感がよい

医療機関を受診する

- 市販薬を5~6日間使用しても症状が
改善しない場合
- じんましんが出たり気分が悪くなったとき。
- 水ぶくれ、腫れ、ほてり、痛みが強いとき。
- 掻き壊し、ただれが強いとき。



虫刺されに配合されている有効成分

- ステロイド：炎症を抑える。毛細血管を引き締め、皮膚の赤みを抑える
- 抗ヒスタミン（ジフェンヒドラミン、クロルフェニラミンマレイン酸）
：かゆみを引き起こすヒスタミンの働きを抑える
- クロタミトン：かゆみを抑える
- リドカイン：知覚神経に作用し、かゆみを抑える
- サリチル酸メチル、グリチルリチン酸：かゆみの原因となる炎症を抑える
- イソプロピルメチルフェノール：殺菌成分。掻き壊し、細菌の増殖を抑える
- メントール、カンフル：清涼感を与え、かゆみを抑える



お薬のこと以外でも何でも
ご相談ください！

ライフ調剤薬局